

**泉園子** **老舗洋菓子店(泉屋)の創業者で、身障者や脳性まひ児に関心をよせ、社会奉仕活動に力を注いだ。**

いづみそのこ

大本教・・・1892 = 京都に生まれる。

郡司千島探検1893 = 1歳：四糸教会で、アメリカンボードのゴードンから、幼時洗礼を受け、

日清戦争始・1894 = 2歳：

田中正造直訴1901 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 13歳：

韓国反日暴動1907 = 15歳：\_信仰告白。

京都の平安女学院を卒業し、

\_大阪船場の鉄や機械扱う貿易商(泉屋)三代目でクリスチャンの泉伊助と結婚後、

韓国併合・・・1910 = 18歳：\_聖公会に転じ、堅信を受領して、正規の教会員となる。

明治天皇没・1912 = 20歳：

第一次大戦始1914 = 22歳：子供たちの健康のため豊かな自然をと、一家で和歌山県の下津に移住、

\_宣教師のロイド宅に出入りするうち、夫人が子供に手作り菓子を与える習慣に感動、クッキーの製法を

学び、夫に内緒でアメリカに発注し、

ロシア革命・1917 = 25歳：\_高価なオープンを入手。夫は怒るどころか、欧米のクッキー作りの本を入手して翻訳するなど、共同研究するうち、ロイド夫人を感嘆させるまでになり、

ベルサイユ条約・1919 = 27歳：

原敬首相暗殺1921 = 29歳：

関東大震災・1923 = 31歳：\_京都に移住、

\_クッキーを焼いては知人らにプレゼントするうち、大評判になり、

金融恐慌・・・1927 = 35歳：\*夫とともに、ホームメイドクッキーの小さな店を開き、(泉屋)を創業、

共産党事件・1928 = 36歳：

世界恐慌・・・1929 = 37歳：\_上京して、(泉屋)東京店の基礎をつくる。

満州事変・・・1931 = 39歳：

二二六事件・1936 = 44歳：\_夫が死去すると、"浮輪"のシンボルマーク発案して、子供たちとともに、家業を全面的に継承し、

日中戦争始・1937 = 45歳：\*店舗を東京の赤坂に移転する一方、身障者や脳性まひ児に関心をよせ、社会奉仕活動に力を注ぎ始め、

日米開戦・・・1941 = 49歳：

敗戦・・・1945 = 53歳：戦災にあい、戦後、自宅も東京に移し、

新憲法公布・1946 = 54歳：\_店舗・工場を中央区西銀座に移転。

\_身障者団体に奉仕しクッキーの無料提供、身障者専用の浴場をつくる基金などで話題となる。日本基督教

婦人矯風会、勤労学生やアジア友好のための活動に打込み、

極東裁判決・1948 = 56歳：\_新宿区四谷坂町に工場を設ける。

独立回復・・・1951 = 59歳：\_渋谷東横百貨店(現東急東横店)のれん街に出店、以後、各百貨店のれん街、老舗街等に出店する。

メー-事件・1952 = 60歳：\_本社・工場を千代田区麹町に建設するとともに、法人組織に改組し、株式会社泉屋東京店を設立して、長男の泉英男が代表取締役社長となり、自らは会長となる。

55年体制始・1955 = 63歳：

国連加盟・・・1956 = 64歳：\_商標登録として"浮輪"のマークが認可となる。

安保闘争・・・1960 = 68歳：

東京初光ヶ 1964 = 72歳：

いざなぎ景気1966 = 74歳：\_会長として、長男の社長とともに、\*アメリカン協会よりアカデミー賞を受賞。財団法人脳性まひ児を守る会理事長となる。

また世界連邦建設同盟副会長、国連東京婦人会副会長などをつとめた。

日中国交回復1972 = 80歳：\_長男泉英男が死去、

石油ショック1973 = 81歳：\_韓国ソウルへ桜の苗木を贈呈するために旅行中、病を得、

角栄金脈辞任1974 = 82歳：\_没した。

インターネット「日本キリスト教女性史」ホームページほか、